

No.4 候補問題の操作手順と時間想定		
	想定時間合計	27分
試験前の操作	10分	支給材料の確認 器具の配置
試験開始	40分	操作手順
電源ケーブル	端子台(5個口)	VVF 2.0-2C(450mm)の外装を50mm、被覆を10mmストリップする
	1 φ 100V	白線を100VのN側に、黒線を100VのL側に差し込み、ネジを締める
		反対側の外装を100mm、被覆を20mmストリップし、被覆を外装の端で180度折り曲げる
部品とケーブルの取付け	連用鉗取付け	連用取付鉗の上にスイッチ(イ)、下にコンセントを取付ける
	コンセント	VVF1.6-3C (500mm) の外装を100mm、被覆を約10mmストリップする
		黒線をコンセントの左側、白線を同右側 (W側)、赤線をスイッチ(イ)の右側に差し込む
		ケーブルの反対側の外装を100mmストリップし、外装の端で切断する
		黒線の両端の被覆を10mmストリップする
		U字に曲げて、コンセントとスイッチ(イ)の左側に差し込む(最初に挿したコンセントの黒線側)
	引掛けシーリング	VVF1.6ケーブル(850mm)をストリップゲージに合わせて外装をストリップする
		同じくストリップゲージに合わせて被覆をストリップする
		ストリップ長さと接地側を確認して、白線を接地側に、黒線を反対側に差し込む
		裏から除いて心線が見えないことを確認する
		引掛けシーリングの中央から350mmで切断する
ランプレ	残ったケーブル(500mm)	の外装を45mm、被覆を20mmストリップする
		被覆の端から2-3mmの心線をストリッパーの先端で挟み下向きに直角に曲げる
		工具を裏返し、片方の心線の端をつまんで手前に曲げ、の字をつくる
		同様に、もう1本の方ものの字にする
		白線がW側 (ソケット側) にくるようにして、の字の部分がランプレセプタクルのネジに重なるように調整する
		ドライバーでランプレセプタクルのねじをはずす
		ケーブルをランプレセプタクルの穴から下へ通す
		外したネジをの字にはめて、指で押さえながらドライバーで押さえつつ回してネジを半分程度締める
		反対側についても同じようにしてネジを締める
		ネジが被覆を噛み込んでいないことを確認してネジをしめる
		VVF 2.0 2Cケーブル(450mm) の外装を50mm、被覆を約10mmストリップする
	端子台(5個口)	VVF 2.0 3Cケーブル(550mm) の外装を50mm、被覆を約10mmストリップする
	3 φ 200V	黒線をTに、白線をSに、赤線をR側にそれぞれ差し込み、ネジを締める
		端子台の中央から250mmで切断する
結線部分のケーブルの処理	施工省略	VVF 2.0-3C(300mm)の片方を折り曲げ、反対側の外装を100mm、被覆を20mmストリップする
		折り曲げた部分を真っ直ぐにし、ストリップした方の被覆を外装の端で180度折り曲げる
	器具の配線	引掛けシーリングを取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、外装の端で180度折り曲げる
		連用鉗を取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、外装の端で180度折り曲げる
		ランプレセプタクルを取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、外装の端で180度折り曲げる
ケーブルの結線	B部分	白線3本(端子台のN側の白線と連用鉗および引掛けシーリングの白線)をそれぞれ立ち上げ、リングスリーブ小にはめる
	リングスリーブ	圧着工具の小の位置を確認し、スリーブを圧着後、小マークを確認する
		端子台のL側の黒線と連用鉗の黒線をそれぞれ立ち上げ、リングスリーブ小にはめる
		圧着工具の小の位置を確認し、スリーブを圧着後、小マークを確認する
		残った電線(連用鉗の赤線と引掛けシーリングの黒線)をそれぞれ立ち上げる
		圧着工具のOの位置にリングスリーブ小を挟み、1.6mmの電線2本をスリーブにはめる
		スリーブを圧着後、Oマークを確認する
		スリーブ(合計3個)の上端からはみ出ている心線をベンチで切断する
	A部分	それぞれのケーブルの心線をベンチ幅(12 mm)で切断する
	差込コネクタ	黒線3本をそれぞれ立ち上げ、3本用の差込コネクターに挿入する
		白線3本をそれぞれ立ち上げ、3本用の差込コネクターに挿入する
		赤線2本をそれぞれ立ち上げ、2本用の差込コネクターに挿入する